

ながふじ学府小中一体校

磐田市は「たくましい磐田人」を育むために、30年先を見据えた「新時代の新たな学校づくり」に取り組んでいます。その第1弾となる「ながふじ学府小中一体校」がいよいよ4月に開校します。

☎教育総務課学府一体校推進室

☎ 37-2115 FAX 36-1517

ながふじ学府小中一体校

～新時代の新たな学校づくり～

磐田市はたくましい子どもたちを育むために、22世紀に向けて、30年先を見据えた「新時代の新たな学校づくり」に取り組んできました。その実現の第1弾となる「ながふじ学府小中一体校」が4月に開校します。

ながふじ学府小中一体校

市内には32の市立小中学校があり、中学校区を単位とした学校群を磐田市では「学府」と呼んでいます。このうち、豊田中学校、豊田北部小学校、豊田東小学校の3校を「ながふじ学府」としています。当面は豊田中学校、豊田北部小学校などが入るながふじ学府小中一体校と、既存施設の豊田東小学校に分かれた向上型学府一体校としてスタートしますが、将来的には全てが統合された未来型学府一体校として運営していきます。

つながりを育む「学府」

磐田市では、平成24年度から段階的に学府内の小学校、中学校が連携

や交流を深める「小中一貫教育」を進めることで子どもたちの可能性を伸ばしてきました。また、平成27年度には学校や保護者、地域の方が一体となって子どもたちを育む「コミュニティ・スクール」を開始し、学府を単位とした小学校・中学校・地域という連携が強化されました。学府ではそれぞれ、地域に根ざし、地域の特色を生かした小中一貫教育が実践されています。

学校と地域で支える9年間

小中一貫教育では、小学校6年間と中学校3年間の9年間のまとまりとして考えます。小中連携、小連携、地域連携により、学校同士、学校と地域が同じ思いで9年間教育を進めていきます。

ながふじ学府小中一体校では、同じ施設内に豊田中学校、豊田北部小学校、ながふじ図書館や地域連携室などがあることで、より日常的に地域との密接な関係を築き、子どもたちを支えていくことができると期待されています。



ながふじの

教育の夢 世紀越え

地域のか 校舎に光る

教育長 村松啓至



ながふじ学府小中一体校ができるまで

ながふじ学府では、豊田北部小学校と豊田中学校の校舎の老朽化に伴い、平成27年度に同学府の地域住民や小中学校・幼稚園・保育園の保護者へ「新時代の新たな学校づくり」について説明会を行いました。

平成28年度には、同学府の自治会や3小中学校のPTAから学府一体校建設に関する要望書が提出され、それらを受けて、学識経験者、地域住民、保護者、教員などで構成する「ながふじ学府新たな学校づくり検討会」が設置されました。検討会では、学府の方向性や建設場所などについて話し合われました。また、その後も地域住民や保護者、教員などが参加するワークショップが開かれ、建築計画のあり方や施設機能、施設配置、ゾーニングなどについて広く意見交換が行われてきました。

新校舎建設は令和元年7月に起工し、令和3年2月に竣工を迎えました。今後は、豊田中学校の既存校舎の解体とグラウンド整備が行われます。

施設概要

- 構造 鉄筋コンクリート、4階建て ●延床面積 17,372.86㎡
- 校舎 普通教室（通常教室31学級、特別支援学級6学級、多目的室4室など）
特別教室（理科室3室、PC教室、図工室、家庭科室、音楽室2室など）
管理諸室（校長室2室、職員室、保健室など）、地域連携室、ランチルーム
- 屋内運動場 メインアリーナ、サブアリーナ、器具庫、ステージ ●武道場
- プール 大プール25m×9コース、小プール12m×6m ●ながふじ図書館
- 共同調理場 ●放課後児童クラブ ●その他（部室、屋外倉庫、駐輪場など）



ながふじ学府
小中一体校

所在地 〒438-0804 磐田市加茂243

がつながる学び舎



人と人の「つながり」と「かかわり」を生む ながふじ図書館

1階にある学校図書館（ながふじ図書館）は、児童・生徒だけでなく、地域住民が自由に利用できる地域に開かれた図書館です。市立図書館資料は一般の方も貸し出し可能です。

- 特長1 ▶ 図書室から図書館へ 市立図書館と連携し、市民も利用可能
- 特長2 ▶ 多彩な使い方が可能 図書館スタッフが常駐し、学校授業での使用や読み聞かせ、調べもの、地域の方も読書ができる
- 特長3 ▶ 多彩な資料 学習用資料や子育て資料など、多世代が利用できる雑誌や読み物が充実

※ 開館時間 午前9時～午後4時30分

※ 休館日 土・日曜日、祝日、年末年始、資料点検日

※ 所蔵資料 所蔵冊数 約25,000冊（4月開館時点）

・学校図書館資料 約20,000冊

・市立図書館資料 約5,000冊

※ 詳細は教育総務課学府一体校推進室へお問い合わせください

放課後児童クラブ

放課後や長期休業期間に保護者が就労などで不在の子どもたちへ遊びや生活の場を提供します。

地域連携室

地域住民が気軽に立ち寄れる場所として、地域と学校を結ぶ窓口になります。

ランチルーム

給食だけでなく、豊田東小児童との交流、集会、地域住民の活用など、多目的に活用できます。



新校舎の完成に思うこと

豊田北部小学校

6年

いなほしあみか
稲橋愛実果さん



新しい校舎はとてもキレイで4月が楽しみです。小学校で頑張ってきたことを続けながら、中学生として新しい気持ちで、下級生のお手本となるように頑張っていきたいです。小学校と中学校が一緒なので、みんなで一緒に活動できることが楽しみです。

豊田中学校

2年

みずかわちかね
水川千歌音さん

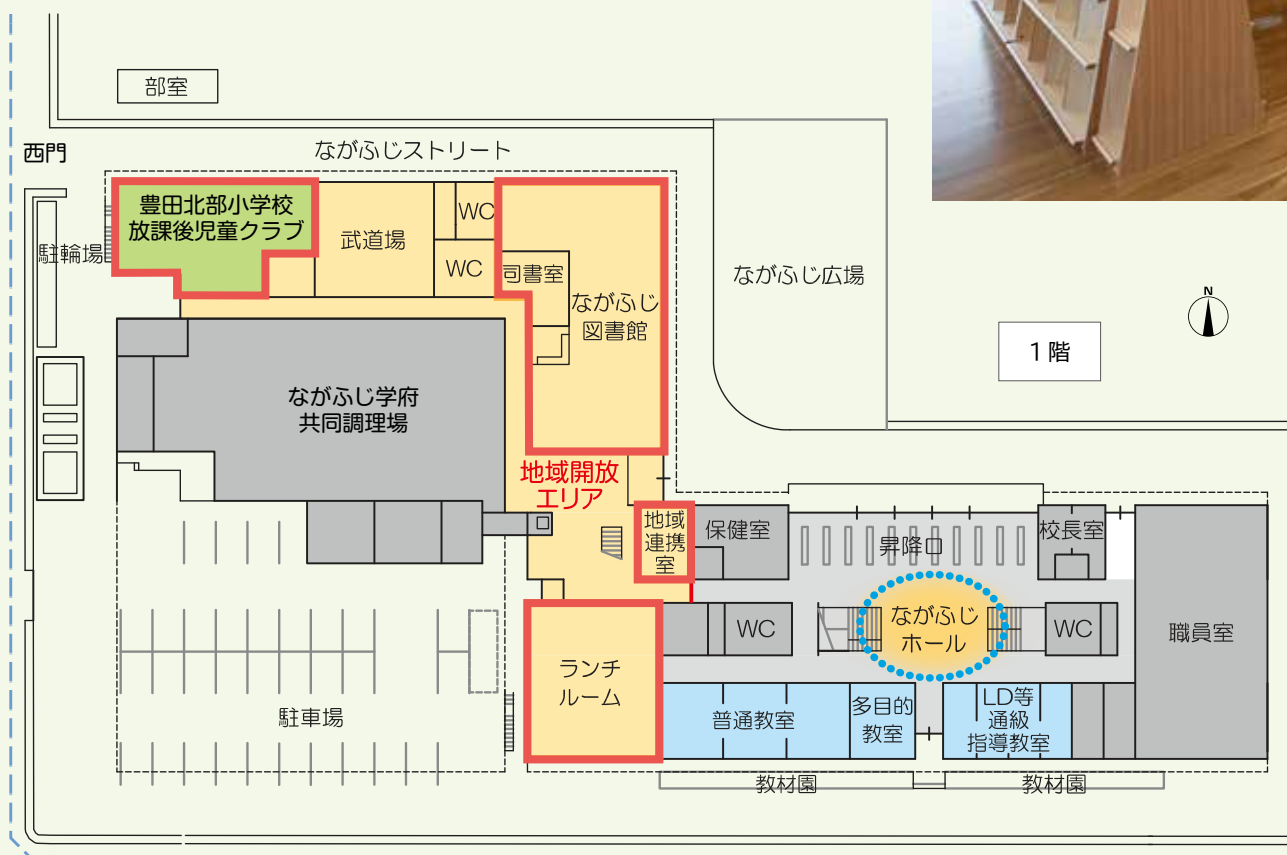


工事の進み具合が学校から見えていたので、完成が待ち遠しかったです。新しい校舎で最初の最上級生として、共に過ごす後輩たちにあいさつや礼儀など「当たり前」のことを、言葉だけでなく行動で示していきたいです。両校の小学生との交流の中で、つながりを深められるとうれしいです。

人と人、学校と地域

つながりを育む多機能型学校

ながふじ学府小中一体校の特徴は、学校施設のほかに「ながふじ図書館」や「地域連携室」、「ランチルーム」といった地域の方も利用できる地域開放エリアを設けていることです。また、広い昇降口や大階段につながる「ながふじホール」などの空間は、自由な発想でさまざまな活用ができ、学年を超えた子どもたちのコミュニケーションが自然と生まれるように考えられています。職員室も小中一体で、地域、子どもたちの交流だけでなく、教職員同士の日常的な交流も創出します。



子どもたちの生き抜く力を
育てるために、

学府構想は未来へと続く

市は目まぐるしく移り変わる社会に対応し、生き抜く力をもつたくましい子どもたち、「たくましい磐田人」を育てていくために、今後未来に向けた学校づくり・地域づくりに取り組んでいきます。

次に進める向陽学府においても、人と人、学校と地域との「つながり」を育む学校にしたいという思いの下、地域や保護者の皆さんの考えや思いを尊重しながら整備を進めていきます。

学府一体校の先駆けとなる、ながふじ学府小中一体校は、地域や保護者が関わりながら学校づくりが行われました。この一体校は、今後地域にとって愛着のあるものになっていくとともに、学校づくりは地域づくりにつながり、さらには地域がより活性化され、たくましい子どもたちを育んでいくことでしょう。

ながふじ学府小中一体校は、磐田の教育歴史の新たな1ページとして刻まれていきます。